

第六期長期計画・第二次調整計画策定委員会 傍聴者アンケート

第7回実施分（令和6年12月26日開催） 自由記載欄

【傍聴者 13名】

○ 今回の策定委員会で印象に残った、または興味のある議論や課題がありましたら記入してください。

- ・教育委員との意見交換はガッカリしました。他所の教育委員もこんなものなのか？
前日(12/25)の市議との意見交換の中で、「間違ったロジックが広がると市政に影響する」とはっきり伝えていただけて良かったです。「言ったもの勝ち」に踊らされている人を見るのは色々な意味で辛い。
- ・「今後の学校改築のあり方の検討」について。あえて「財政面」と書いたと発言があったと思いますが、やはり学校改築の項目にだけ財政面を強調させるような書き込みがあるのは解せないです。今日までの議論を傍聴しているのであえて書きたくなる気持ちは理解しますが、今後多額の財政投入が必要になる事業は他にもあるのに学校改築にだけ財政面を強調されてしまうと、武蔵野市はこれから教育やこどもの育ちに関係する事からお金を削るんだ……というネガティブな印象しか持てないです。やる事は同じでも言うのと言わないのでは印象が全く違います。市職員（特に教育委員会）はそれでもいいのでしょうか。
- ・千川小学校の百年校舎は、建設時には学校として、子ども達が未来永劫使用するというより、当時、少子化も見据えて地域に開放する複合施設的な意図があったように記憶しています。
ただ、千川小学校や大野田小学校のオープンスペースは当時の40人学級では隣のクラスの声が聞こえてしまうので、子ども達が落ち着かず、飛び出してしまうという難点があり、カーテンや壁をつけざるを得ない状況で、教職員も苦慮していたと聞いています。
- ・武蔵野市が新しい教育を目指して新校舎に建て替えるのであれば、市独自で小・中学校は30人以下学級にしてほしいです。
- ・委員が質問した子どもの貧困問題については、教育部か子ども家庭部の職員が回答できると良かったと思います。
- ・財政計画は、20年近く前に、市民の「決算から見る自治体財政」講座が多摩地域で流行り、私も何回か学習したのですが、かなり難しく頭が痛くなりながら、自分の住んでいる、または働いている自治体のお金の使われ方を理解することができました。そういう機会が市側から企画されると良いなと思いました。

- ・長期計画の「評価」の考え方は、西尾勝先生の記述に書かれていたのではないかと思います。武蔵野市の長期計画の考え方を改めて調べたいと思いました。

○ その他、ご意見・ご感想などありましたら記入してください。

- ・答申案の参考資料からが無くなっているため、どんな市長公約から二次調の5つのテーマ・論点を設定されたのかの経緯がわからなくなりました。二次調整にかかった費用・時間や、今回の二次調整を今後歴史的に検証する上でも、答申案や今後発行される第二次調整計画の冊子には「テーマ別論点集」を掲載すべきだと思います。二次調整は長期計画条例に基づき行われたものなので手続きに対する批判はないが、「この市長公約についてどんな読み取り方から議論のテーマ・論点を設定し、六長調から更に二次調整を行った意義はあったのか？」という振り返りの議論は、今後の長期計画を考える上でしなければならないと思います。そのためにも市長公約とテーマ・論点を設定していった流れがわかる「テーマ別論点集」は掲載する必要があります。
- ・毎回オンライン傍聴を設定していただきありがとうございます。会場での傍聴も嫌いではないですが、オンライン傍聴だとどこにいても参加できるし、好きなだけ資料を広げて気になる事を調べながら傍聴できるので助かっています。ただ市役所の会議室から参加している委員の発言音声が入り込んで聞き取りにくいことがあるのが気になります。弱い回線にたくさん繋ぎ過ぎなのでしょうか。もしくはZoomに使用しているPCの問題なのか。
- ・今回の二次調策定には、委員の皆さまや担当部局の方々もかなり苦労されたと思います。年の瀬まで、本当にお疲れ様でした。
市民自治を市民全体で考えられると良いなと思いました。

※文字及び文章はできる限りアンケートに記入されていた原文のまま記載しています。
また、委員名については削除しています。